

平成15・16年度に開催された 建設ロボット技術研究会の紹介

東北大学大学院環境科学研究科
高橋 弘

建設ロボット技術研究会

(平成15・16年度)

国土交通省東北地方整備局東北技術事務所
(財)先端建設技術センター

設立趣意書より

本検討会は、このような状況を踏まえ、東北地方整備局として災害対応や除雪対応などにおいて、建設ロボットの活用に取り組む必要性があることから、現在の自動化技術の開発や実用化の現況、及び将来的な技術進展を把握し、活用する場面を想定しつつ具体性等について、ロボット技術の活用に向けた課題および要素技術について検討するために設立するものです。

東北地方の地域性から、自動化の検討分野を地震、水害、雪害の3災害に絞込む

3災害について、それぞれ2テーマ、全6テーマを設定

- ①地震A: 災害発生直後の情報収集(発生状況の情報を収集)
- ②地震B: 災害発生直後の施設の緊急点検(亀裂の検知・計測)
- ③水害A: 災害発生時における応急工事等の実施
(土嚢の製造と設置)
- ④水害B: 災害発生時における応急工事等の実施
(効率的な排水作業)
- ⑤除雪A: 車道の効率的な除雪作業の実施
- ⑥除雪B: 歩道の効率的な除雪作業の実施

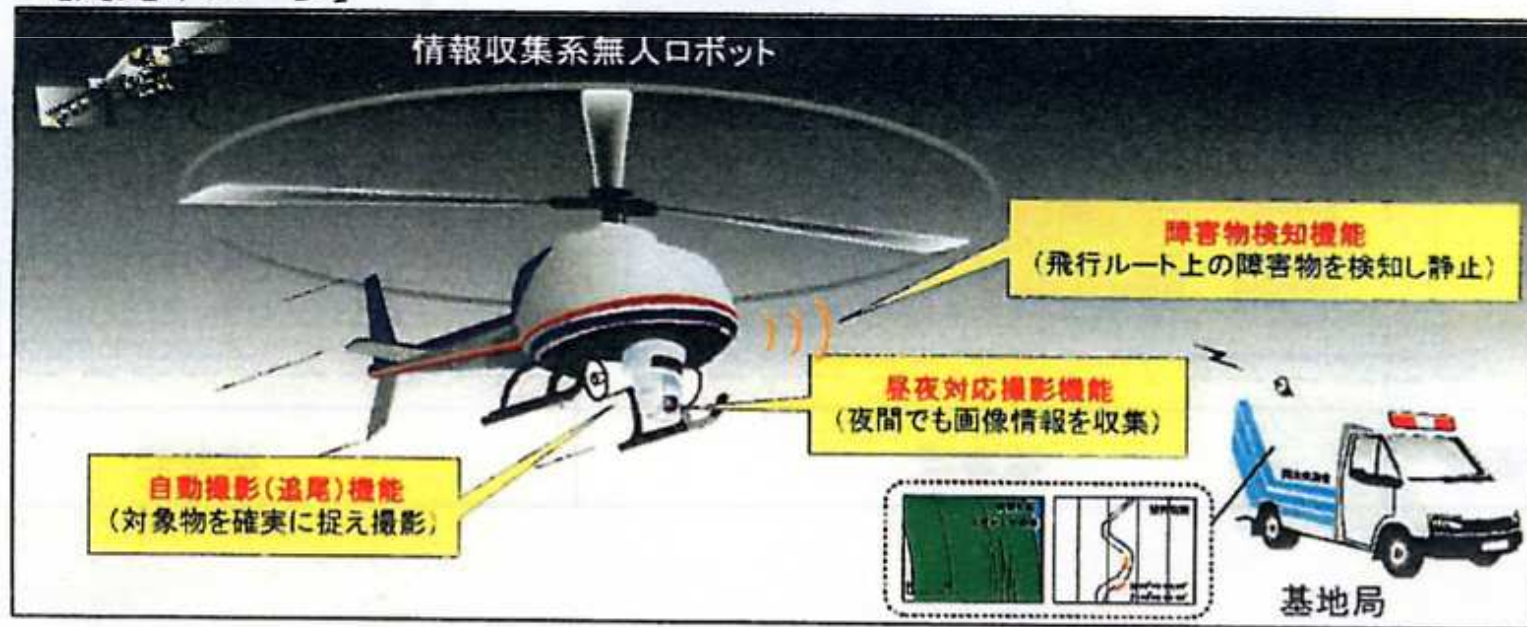
それぞれについて必要機能を調査検討

アンケートにより優先順位の高い2テーマ選定

- ①地震A: 災害発生直後の情報収集(発生状況の情報を収集)
- ②水害A: 災害発生時における応急工事等の実施
(土嚢の製造と設置)

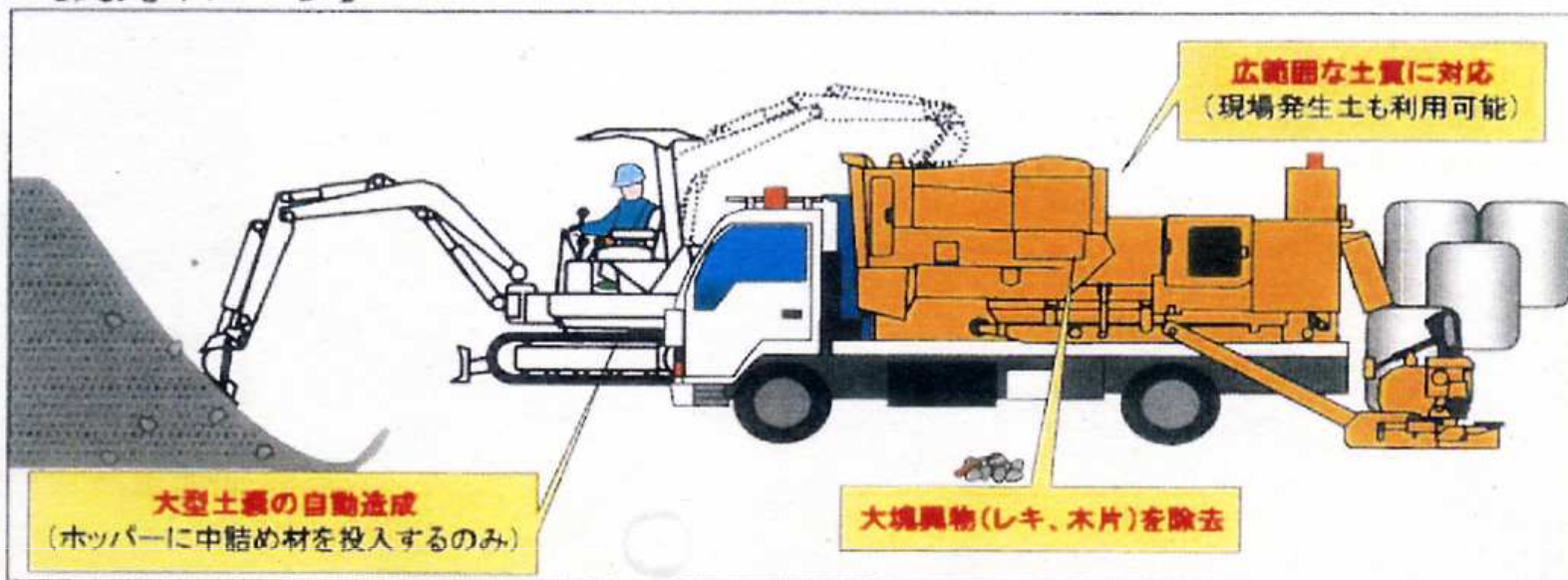
①地震A

【開発イメージ】



②水害A

【開発イメージ】



【開発イメージ】

